

2017年3月期の連結業績予想 (2016年4月1日～2017年3月31日)

本資料の内容には、将来に対する見通しが含まれている場合がありますが、実際の業績は様々な要素により、これら見通しと大きく異なる結果となり得ることをご了承ください。

会社の業績に影響を与え得る事項の詳細な記載は「平成29年3月期 第3四半期決算短信」の「事業等のリスク」にありますので、ご参照ください。

ただし、業績に影響を与え得る要素は「事業等のリスク」に記載されている事項に限定されるものではないことをご留意ください。

本資料・データの無断転用はご遠慮ください。

以下の業績予想は、「平成29年3月期 第3四半期決算短信」の4ページに記載された「当連結会計年度の連結業績見通し(2016年4月1日～2017年3月31日)」の抜粋です。

当連結会計年度の連結業績見通し(2016年4月1日～2017年3月31日)

「Yahoo!ディスプレイアドネットワーク(YDN)」等のディスプレイ広告売上は、前連結会計年度比でふた桁の増収率を見込んでいます。ショッピング関連広告売上は、取扱高の拡大に連動した増収を見込んでいます。検索連動型広告売上はデバイスシフトの影響があるものの、継続的な機能改善や一部広告出稿主の需要増加により、当連結会計年度においては前連結会計年度比でほぼ横ばいとなることを見込んでいます。これらの状況を踏まえ、当社グループでは当連結会計年度の広告関連全体の売上高について、前連結会計年度比でひと桁半ばから後半の増収率を目指しています。

「ヤフオク!」「Yahoo!ショッピング」を含めたeコマース国内流通総額は、前連結会計年度比で引き続き増加する見込みです。「Yahoo!ショッピング」においては、取扱高とショッピング広告売上の拡大に向けて、より効率化した販売促進活動と、サービスや広告商品の磨き込みを継続します。

クレジットカード事業においては、前連結会計年度からの数年間を「将来の成長のための先行投資の期間」と定め、引き続き積極的な会員獲得と利用促進に向けた取り組みを行います。